



スズキ      ソリオ  
                 ソリオ バンディット  
ミツビシ    デリカD：2

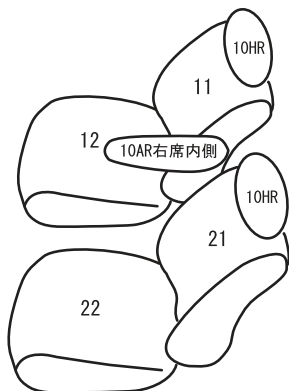
## 専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

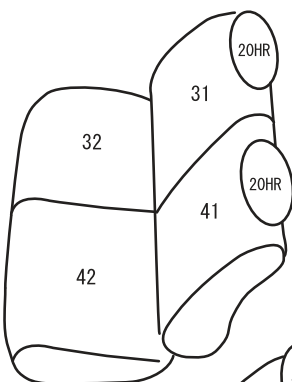
- \* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- \* 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

6250/6251/6252/6253/6254  
6255/6256/6257/6258/6259

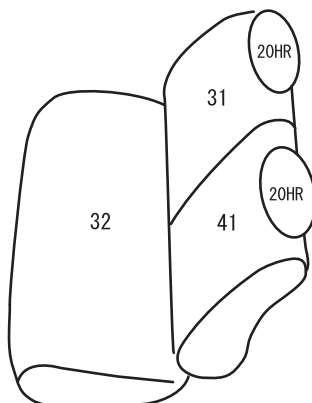
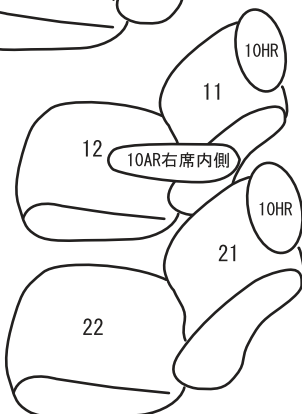
# 本製品シート形状とパーツの名称



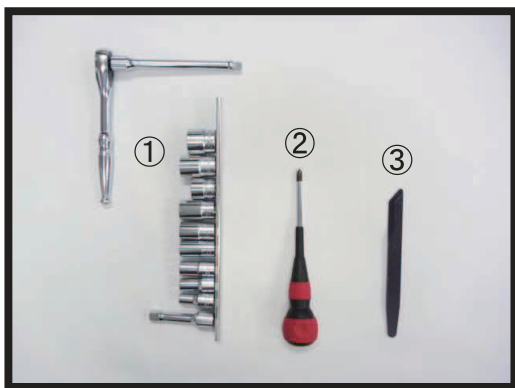
2列目座面一体型



2列目座面5:5分割



## 取付必要工具



### 工具名

① ソケットレンチセット  
(10mm/12mm)

※10mmはパーソナルテーブル  
装備車に使用

② プラスドライバー

③ ヘラ(付属)

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



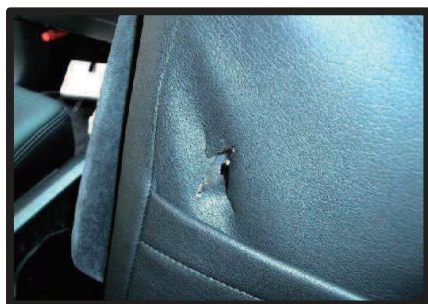
- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

# コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

# 1 列目運転席側座面



①シートを最大に上げた状態にして、シートリフターのレバーを外します。丸いキャップをヘラなどを使用して外し、中のネジをドライバーで外します。



④シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



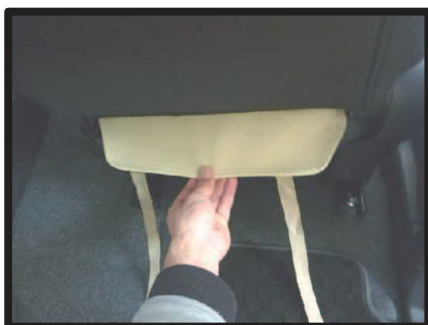
②シートリフターのレバーを外した図です。レバーはカバー取り付け後、元に戻します。



⑤背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



③カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



⑥入れ込んだ生地を背面から引き出します。





⑦カバー外側側面に開けている穴位置を、シートリフターの軸の部分に合わせます。



⑩シート外側面は図のようになります。



⑧カバー外側面の生地をシートと土台部分のプラスチック部の隙間に入れ込みます。ヘラなどを使用して作業を行うと生地が入れ込みやすくなります。

※H25. 11. 18以降の一部改良後のシートヒーター装備車は、内側面も同様に生地を入れ込みます。そのモデル以外の内側面は、⑪～⑬をご確認下さい。



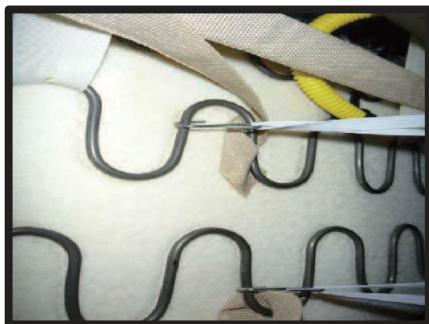
⑪図はシートの裏側からシートの内側部分を写しています。カバー内側面の生地をプラスチック部の隙間に入れ込みます。カバー内側面に付いているマジックテープのベルトを、図の隙間部分からシート裏に引き出します。



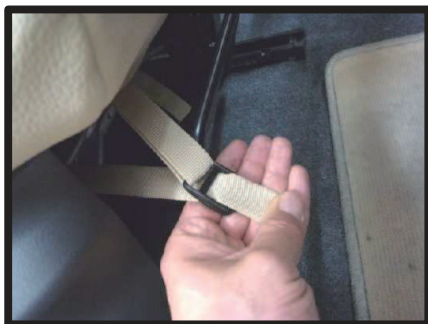
⑨リクライニングレバーの内側のカバーに、プラスチックの板が付いています。⑧と同様に、プラスチック部の隙間に入れ込みます。



⑫マジックテープのベルトは、シート裏の金属部分に引っ掛けて折り返し固定します。



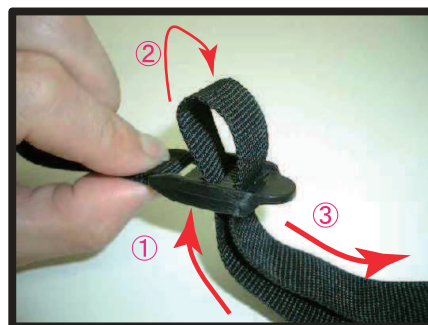
⑬カバー内側面に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



⑭⑬で引き出したベルトをカバー前方に付いているバックルと固定します。



⑮シート前方の図です。1ページ⑥で引き出した生地が付いているベルトを、シート背面からシート裏を通して引き出します。



⑰ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。



⑱⑭のベルトは、シート裏の金属バーの上を通すようにして下さい。



⑲カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。

# 1 列目助手席側座面

助手席シートヒーター装備車は②の作業は不要です。5ページ⑦⑧もご確認ください。



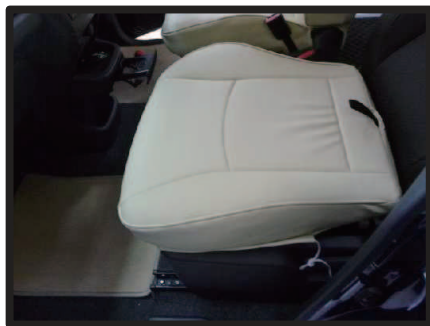
①カバーを裏返してシートのラインに合わせます。

※実際の商品では図に写っているベルトを逆に付けています。ベルトが前でバックルが後ろになります。



②カバーの加工穴からベルトを取り出します。

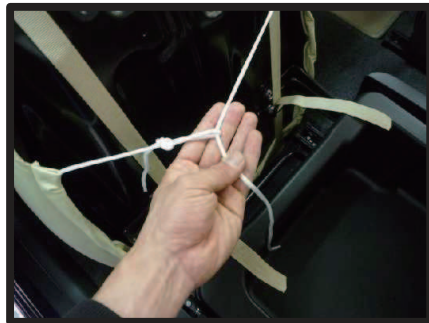
※助手席シートヒーター装備車はシートが前に跳ね上がらない為、シートの形状が異なります。



③シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑤カバー側面から出ているヒモの片方で、図のように輪を作ります。



⑥作った輪にもう片方のヒモを通してシートの下周りを絞り込み結び留めます。この際シート周りの生地が、しっかりシートの裏に回るようにして下さい。



⑦シート裏でカバー前後のベルトを固定します。

# 1 列目背もたれ



⑦助手席シートヒーター装備車は、カバー側面のヒモをシートとプラスチック部の隙間に入れ込み、シート背面の図の位置で結び留めます。



⑧助手席シートヒーター装備車は、カバー前後のベルトを、スライドレバー・シートアンダートレイの上を通して、シート裏で固定します。



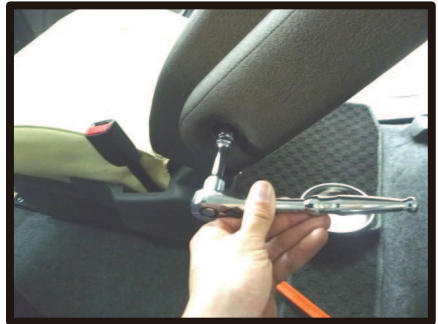
⑨カバーのラインを整えて、1列目助手席側座面の完成です。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



①運転席側は始めにアームレストを外します。ヘラなどを使用して、アームレストの丸いプラスチックキャップを外します。



②プラスチックキャップを外すと中にボルトがありますので、ソケットレンチなどを使用して外します。(ソケット12mm)



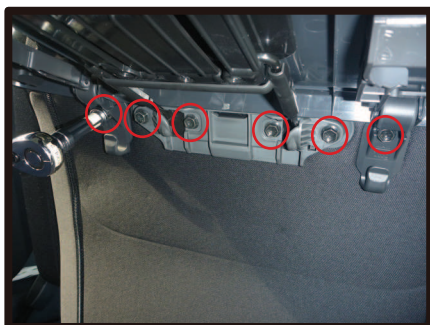
— 5 — ③ボルトを外すとアームレストが外れます。



- ④シート背面にパーソナルテーブルが装着されている車は、テーブル部分をシートから外します。  
※パーソナルテーブルが装着されていない車は⑦からご覧下さい。



- ⑦カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。この際、肩口部分の生地が張るまでしっかりとかぶせて下さい。



- ⑤パーソナルテーブルは、テーブルを起こして、裏から見ると6本のボルトで固定されています。ボルトをソケットレンチなどを使用して全て外します。(ソケット10mm)



- ⑧運転席側は外したアームレストの付け根部分に軸が出ているので、生地を引っ掛けないように注意して下さい。



- ⑥ボルトを外して、パーソナルテーブルを手前に引くと図のように外れます。



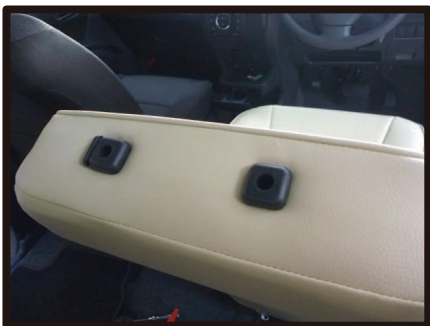
- ⑨シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



⑩ヘッドレストの台座部分を取り出します。まず台座の片側のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



⑬入れ込んだ生地を、シート背面から引き出します。



⑪生地の伸びを利用して台座を取り出します。



⑭図の①～③の順番に生地をなで下ろしてシートに密着させるようにしわを無くしていきます。  
※別車種の画像を使用しています。



⑫背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑮⑬で引き出した生地とカバー背面下をマジックテープで固定します。



**注意**

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



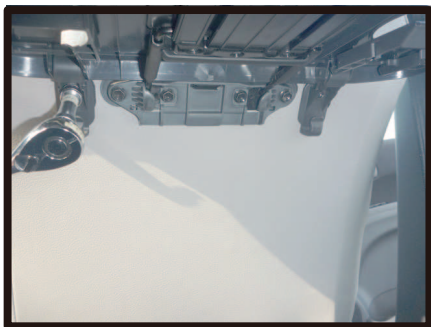
⑯カバー背面下に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。



⑰S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛けて固定します。  
※助手席側は9ページの⑳㉑をよく確認して下さい。



⑱パーソナルテーブル装着車は、テーブルを元に戻します。カバーを装着することで、ボルト穴にシート表皮がずれてかぶさる場合があります。ボルト穴がカバーの加工穴からしっかり見えるように合わせます。



⑲パーソナルテーブルを元通りに固定します。

※ボルト穴用に開けているカバーの加工穴は大きめに開けているので、カバーの固定具合によりテーブルのプラスチック部分からはみ出す可能性があります。予めご了承下さい。



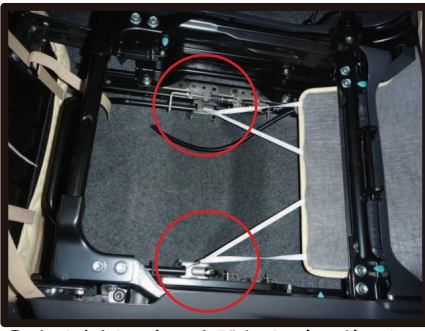
⑳パーソナルテーブルをシートに戻した図です。



㉑サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。  
カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。

## 2列目座面(5:5分割)

※一体型の車は11ページからご覧下さい



②助手席側の座面を跳ね上げ、ボックスを外した図です。カバー背面下のゴムは、シートスライド時に干渉しない金属部分に引っ掛けて固定します。



①カバーを取り付ける前に、シートベルトバックルを固定しているゴムから外しておきます。



③助手席側の背もたれは図のようにするとかなり前に倒れます。この際②で引っ掛けたゴムが引っ張られ切れる恐れがありますので、②でゴムを引っ掛ける際は、あまり引っ張りすぎず、ゴムにゆとりを持たせて固定して下さい。



②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



④サイドエアバッグ装備車は、サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。  
一列目助手席側背もたれの完成図です。形状は異なりますが、運転席側と同様の固定方法で取り付けます。



③シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。





④ 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦ カバー側面から出ているヒモをシート裏で結び留めます。



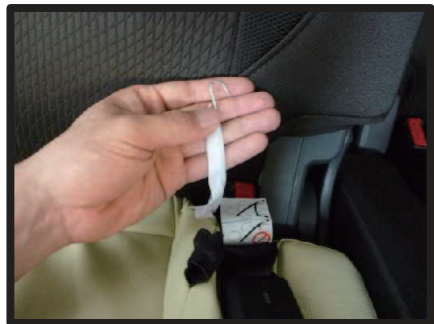
⑤ シートベルトバックルが収納される溝にも生地をしっかりと入れ込みます。



⑧ カバー側面の矢印部分辺りに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します



⑥ ④で入れ込んだ生地に付いているベルトをシート裏を通して、シート前側から引き出します。カバー前方に付いているバックルと固定します。



⑨ シートベルトバックル部分です。生地に付いているゴムに、S字フックを取り付けます。シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。

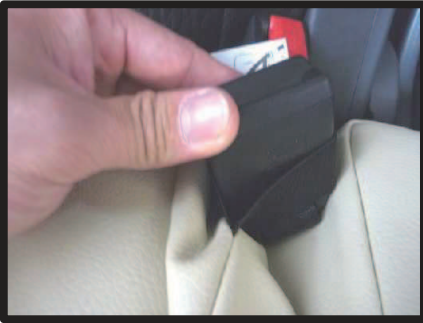
## 2列目座面(一体型)



⑩背もたれ内側の付け根部分です。こちらにもゴムが付いていますので、S字フックを取り付けて、シートベルト裏に固定します。



①カバーを取り付ける前に、ラゲッジルームに収納されているボックスを取り外しておきます。



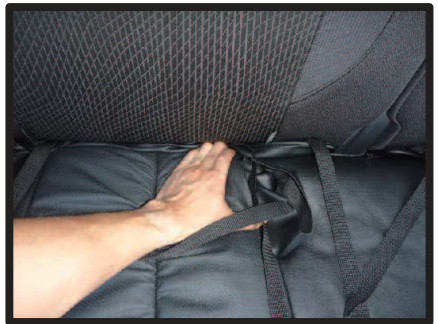
⑪8ページ①で外したゴムと同様に、カバーに付いているゴムでシートベルトバックルを固定します。



②カバーを裏返してシートのラインに合わせてみます。



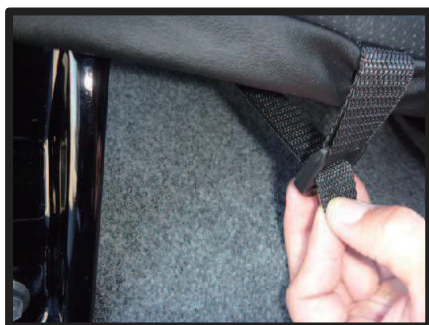
⑫カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④ 11ページの③で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦シートの前側から通したベルトを引き出します。カバーの前側に付いているバックルに通して、ベルトを固定します。



⑤引き出した生地を、図の金属バーの内側に通します。



⑧カバー側面の矢印部分辺りに付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。カバー側面から出ているヒモを、シート裏に回します。



⑥通した生地についているベルトをシート裏を通して、シートの前側に回します。



⑨ヒモはシート裏で、図のように結び留めます。

## 2列目背もたれ

※2列目座面5:5分割車と一体型車で、背もたれの形状は異なりますが、説明は同時に進行しています。どちらの車もこちらからご確認ください。



⑩シートの付け根部分に生地を巻き込むように入れ込みます。



⑪シート背面のチャイルドフック固定用バーのフチを外します。フチのプラスチックは、矢印の方向にスライドさせて引き抜きます。



⑪シートベルトバックルが出ているフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



⑫カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



⑫カバーのラインを整えて、2列目一体型座面の完成です。



⑬シートのラインからずれないようにカバーをシート全体へかぶせます。



④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。

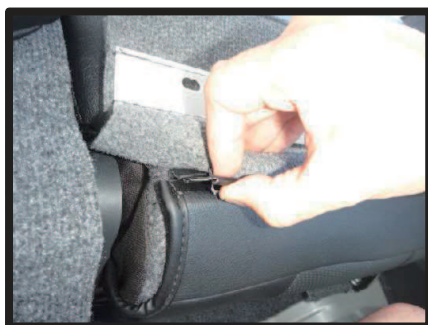
※2列目座面一体型の背もたれカバーには、フックが付いているので、座面カバーを傷付けないようにご注意ください。



⑦2列目座面一体型車の背もたれです。シート表皮を固定しているフックを外します。フック状のプラスチック部分から図のように板状のプラスチックを、引き抜き外します。



⑤入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑧引き抜いた板状のプラスチックを、⑤で引き出した生地についているフックにはめ込み固定します。



⑥2列目座面5:5分割シート車です。引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



⑨全てはめ込むと、図のようになります。



⑩リクライニングレバー部分にネジがありますので、ドライバーを使用してネジを外します。



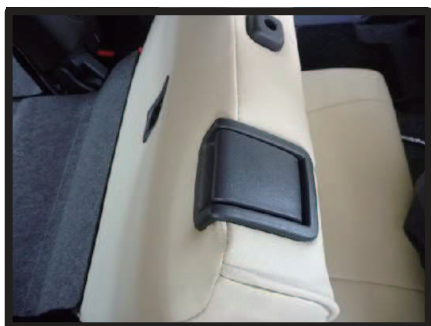
⑬13ページ①で外したプラスチックのフチを、生地を挟み込み元に戻します。



⑪ネジを外すとリクライニングレバー部分が画像のように浮かせることができます。

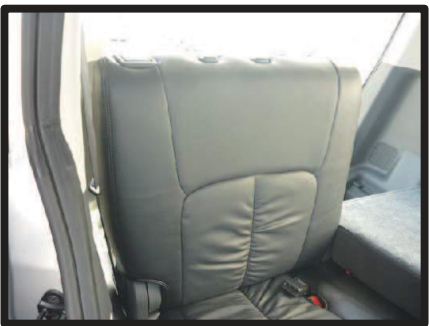


⑭2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑫生地を挟み込みリクライニングレバー部分を元に戻します。

※生地を挟み込む分、ネジを留める際に、レバー部分をしっかりと押さえ込込む必要があります。



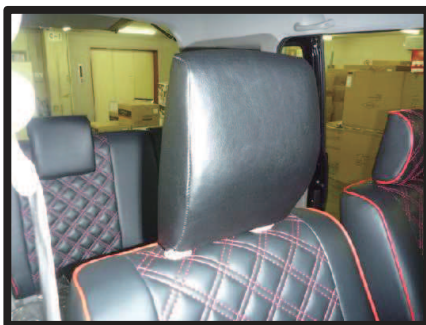
⑮2列目座面一体型車の運転席側背もたれの完成図です。助手席側も同様に取り付けます。

# ヘッドレスト

※図は別車種です



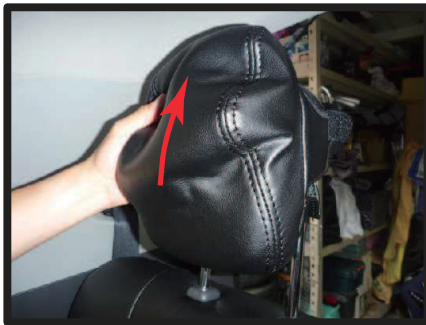
- ① 1列目ヘッドレストに、カバーを半分裏返した状態でかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- ④ カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



- ② ヘッドレストを台座から取り外し、カバー底面のプラフックで固定します。



- ⑤ 2列目ヘッドレストは、図のようにカバーを前側からかぶせていきます。



- ③ プラフックの固定方法は、図のように平らな形状の方を、生地ごと巻き込みながら、カギ状の方に引っ掛けるように固定します。



- ⑥ ヘッドレストを台座から取り外し、生地を内へ寄せながらマジックテープで固定します。

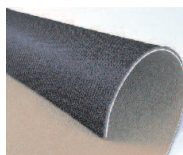


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**



## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。  
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。  
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。  
それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

